

おもいやり

2017年12月 Vol.2

足利市人権推進広報紙 第2号
発行 平成29年12月 1日
足利市総務部人権・男女共同参画課
電話：0284-70-8600
ファックス：0284-73-8066
E-mail：jinken@city.ashikaga.lg.jp

きれいな花を
いっぱい咲かせよう！

人権の花運動



この運動は、子どもたちが協力しながら花を育てることで、命の尊さや優しい思いやりの心を育むことを目的として全国で実施されています。

足利市では、足利人権啓発活動地域ネットワーク協議会が主催となり、毎年市内の小学校の中から4校を選定して人権の花運動を実施しています。

今年度は、青葉小学校、桜小学校、北郷小学校、坂西北小学校の4校に5月から6月にかけて、同協議会から花が贈られました。

各学校では、贈呈式が行われ、全校児童と教職員が見守る中、人権擁護委員から代表児童たちへ花が手渡されました。

児童からのお礼の言葉の後は、代表の人権擁護委員から「人権の花を通して思いやりや優しい心を育んでほしい」「思いやりを持った立派な大人になってほしい」などの話がありました。

贈呈された人権の花は、児童らによつて校内の花壇やプランターに植えられ、みんなで協力して水やりなどをを行い、元気できれいな花をたくさん咲かせてくれます。



「人権の花を育てた感想（児童アンケートより）」

●花のお世話をたくさんすればするほど、きれいに咲いてくれるからうれしかったです。

●「人権の花」として育てた花は、命の大切さを知って育てたものだったので、今まで育てた植物の中で一番心をこめて育てられたと思います。虫がついてしまったとき、自分も虫が苦手だけど、花のために取ったことがあり、少し強くなれたときもありました。特に、つぼみだった花が咲いたときは、うれしかったです。動かないけど、生き物として世話をしたので、物や人、他の動物を大切にすることも強くなったと思います。

●みんなで花に水をあげたり、草むしりをするのは楽しいと思つた。花に水をあげたりしないとすぐに枯れてしまうので、水をあげたりするのは大切だと思つた。

●今回自分で人権の花を植えて、とても楽しかったです。一回枯れてしまったけど、枯れてしまった花からたくさん種が出てきて、また植えたら出てきて、とてもうれしかったです。また植えたいです。

「足利市には日本遺産・足利学校があります。そして学校には論語があり、今、小学生たちも論語の素読をしています。その論語の中に「恕」*の言葉があります。足利市民は互いに認め合い、思いやり、住み良い、明るい街にしていきたい」との思いから名づけられました。

*「恕」…「思いやり」のこと。

「子貢問いて曰わく、一言にして以て終身之れを行うべき者有りや、と。
子曰わく、其れ恕か。己の欲せざると所、人に施すこと勿かれ、と。」

(書き下し文：足利市教育委員会編集・発行「論語抄」から)

題字の
「おもいやり」
とは